

第1学年 国語科学習指導案		授業者	場所	1年教室
単元名	単元名 すきなところを見つけよう 教材名 「たぬきの糸車」		本時	5 / 9
ねらい	挿絵や本文をもとに、糸車を回すたぬきとそれを見たおかみさんの気持ちを読み取り、想像しながら音読することができる。			
過程	本時の展開			
	学習内容	指導・援助 ※評価規準		
つかむ (5)	<p>1 これまでの学習を振り返り、本時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わなにかかったところをおかみさんに助けてもらった。 ・おかみさん、逃がしてくれてありがとう、と思っている。 <p>2 本時の場面を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の間、たぬきがしたことを確かめる。 糸車を回していた。 じょうずな手つきで糸をつむいでいた。 <p>3 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>糸車をまわすたぬきと、それを見たおかみさんの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。</p> </div> <p>4 個人追究する。一人読み→スクランブルペア対話(知り対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たぬきとおかみさんの気持ちを想像して、ワークシートの吹き出しに書く。 <p>5 全体交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>(おかみさん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれだろう、ふしぎだな。 ・あの糸の束はたぬきだったんだね。 ・上手に糸車を回しているな。かわいいな。 <p>(たぬき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸車って、たのしいな。 ・おかみさん、喜んでくれるかな。 ・逃がしてくれたお礼に糸をつむごう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の挿絵や、ワークシートに書いたことを提示し、学習内容を想起させる。 ・おかみさんが、たぬきのことがかわいいと思うようになったことを確認する。 ・冬から春への時間の経過を意識させる。 ・臨場感を出すために、実物を用意する。 ・土間でご飯をたく場面を想像させ、そこに糸車の音を鳴らす。 ・板戸の陰から茶色いしっぽを出す。 ・「そっとのぞく」を、動作化して確かめる。 ・たぬきには、糸車を回してみたい、という興味や、おかみさんへのお礼、恩返しの気持ちがあることを確かめる <p>※評価規準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>糸車を回すたぬきと、それを見たおかみさんの気持ちを想像し、それをもとに音読しようとしている。(C(1)エ)</p> </div>		
考える (15)	<p>6 深めの発問をし、3人対話をする(考え対話)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>どうしてたぬきはこんなに上手になったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・糸車を回すのが楽しくて、ずっと糸車を回していたから。 ・助けてもらった恩返しで、糸をたくさんつむいで「ありがとう」の気持ちを伝えたい。 			
深める (10)	<p>7 想像したことをまとめの音読で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たぬきとおかみさんの言葉を想像し、動作化しながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人で音読する。 ・音読に合わせてたぬきとおかみさんの様子を動作化し、最後に想像した言葉を話す。 		
まとめ (15)				

第1学年 「たぬきの糸車」 単元構造図

単元名 すきな ところを 見つけよう

【単元の目標】

- ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思C(1)エ)
- 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思C(1)イ)
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知(1)ク)

【評価規準】

- 【知】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)
- 【思】・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)
・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)
- 【態】これまでの学習をいかし、場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとしている。

【本単元で習得した資質・能力 を活用する今後の学習】

- 1年「ずうっと、ずっと、大すきだよ」
- ・感想を交流することで、お話をより楽しむ。

【第3次】

- ⑦ すきなところをえらんで、えと文でつたえよう。
- ⑧ 「すきなところカード」を作る。1人ずつ発表の練習をする。
- ⑨ 「すきなところはっぴょうかい」をする。感想を伝え合う。
・単元の学習を振り返る。

【第2次】

- ② たぬきがきこりのふうふにしたときの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。(第1場面)
・たぬきの行動とその理由を想像する。・きこりの気持ちを想像する。
②いたずらは、たのしいな。かまってほしいな。
③こまったな。いたいめにあわせてやろう。
- ③ 糸をつむぐまねをするたぬきや、おかみさんの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。(第2場面)
・おかみさんとたぬきの行動を想像する。・役に分かれて、動作化する。
・おかみさんとたぬきの気持ちを想像する。
④なんだかおもしろそうだな。やってみたいな。おもしろい音だな。
④まねをしていて、おもしろいな。いたずらばかりしていたけど、かわいいところもあるな。
- ④ わなにかかったたぬきと、にがしてあげるおかみさんの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。(第3場面)
・たぬきとおかみさんの行動から、気持ちを想像する。
④どうしよう、たすけて。もういたずらしないから、ゆるして。
④いたずらはゆるせないけれど、かわいいところもあるから、にがしてあげよう。
- ⑤ 糸車を回すたぬきと、それを見たおかみさんの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。(第4場面)
本時・たぬきの行動を、時間を追って確認する。・しっぽが見えたときのおかみさんの気持ちを想像する。
⑤糸車って、たのしいな。おもしろいな。おかみさんがたすけてくれたから、おれいだよ。
⑤だれが糸をつむいだのだろう。まさかたぬきがずっとまわしていたのかい。たぬきさん、ありがとう。
- ⑥ おどりながらかえっていくたぬきと、見おくるおかみさんの気持ちをかんがえて、おんどくしよう。(第5場面)
・たぬきの気持ちが表れている言葉を見つけ、それを手掛かりに気持ちを想像する。
⑥おかみさん、よろこんでくれるかな。また糸車やりたいな。
⑥糸をたくさんつむいでくれて、ありがとう。また、おいで。

【単元を貫く課題】
お話の「好きなところ」を選び、絵と文で伝えよう。

【言語活動】
好きな場面を声に出して読む。

【第1次】

- ① おはなしのすきなところとそのわけをかこう。
・既習の物語教材「くじらぐも」「おかゆのおなべ」などを振り返るとともに、単元名とリード文からめあてを知る。
・教師の範読を聞き、物語の大体を捉える。初発の感想を書く。
おはなしの「すきなところ」をえと文でつたえよう。

【ICTの活用】

- ・きこり、糸車、土、板戸、障子などを映像で視聴する。

【言語についての知識・理解・技能】

- ・話にはまとまりがあることを知る。

【児童の実態】

音読を楽しむことができる。既習の物語教材「おおきな かぶ」「くじらぐも」では、役になりきって、劇を楽しむことができた。また、吹き出しに想像したことを書き込むことにも慣れてきたため、抵抗なく書く子が多い。しかし、発表することになると、自信が持たず、挙手が少なくなってしまう。本単元では、たぬきやおかみさんの言葉を想像し、動作化をしながら発表することで、物語の楽しさを味わわせたい。